

第1回草津市総合計画策定市民会議概要		
日 時	平成20年8月24日（日） 14時00分～16時00分	
会 場	市役所8階大会議室	
出 席 者	別紙のとおり	
欠 席 者	別紙のとおり	
会 議 資 料	別添のとおり	

1. 市長あいさつ

皆様、こんにちは。草津市総合計画策定にあたりまして、市民会議の委員にご就任たまわりまして、誠にありがとうございます。皆様方をお願いするのは、新しい総合計画策定ですが、市の仕事は、多方面に渡っておりますが、これらが、個々に動いては、良いまちづくりはできません。限られた、人、物などの資源を総合的に有効に活用しながら、将来のビジョンをたて、それに向かって力をあわせて新しいまちづくりを市民の皆様と行っていく。そのために総合計画があると考えております。

本市のまちづくりは、第4次総合計画「くさつ2010ビジョン」に基づきおこなってきました。また、都市像は「パートナーシップで築く『人と環境にやさしい 淡海に輝く 出会いの都市』」となっております、それぞれの言葉に思いが込められています。パートナーシップというのは、市民の皆様と職員による協働のまちづくり、そして草津の地勢、宿場町、国道幹線等が結節する場所でもあることから出会いのまち、交流のまち、このような思いから都市像を描いたのが8年前です。それから、8年を経て、2010ビジョンは残すところあと2年です。新しいビジョンを描く必要があります。大型のプロジェクト事業は一部事業を残し、終了いたしました。また、当初の予測を超えて急激な少子・高齢化が進んでおります。あるいは、社会、経済情勢の急激な変化、地方分権の推進により、市町村、基礎自治体の役割が重要になってきております。こういった、当時よりもより進んだ情勢があります。

一方で草津市は、新名神の開設による交通拠点としての役割、社会全体では、少子化が進んでいますが、人口が増加しているという状況でもあります。このような状況を踏まえて、新しい総合計画を2か年かけてまとめていこうと考えております。その中で、皆様の知恵をお借りできればと思います。この市民会議は、総合計画の策定の手法としては、市民、市の職員で構成するプロジェクトチームが参画して、協働により進めていく草津市で初めての試みです。市民の皆様と職員が一緒になって、草津市の将来について、都市像、まちづくりについて活発な議論の展開をお願いしたいと思います。

さて、混迷の時代、確かな目が必要です、とある方が言っておられました。その中でも3つの目が必要だと言われています。1つが身近な細かい所をしっかりとみることができる虫の目。2つ目が、全体を鳥瞰するための鳥の目、時代の潮流をみる魚の目です。これらの3つの目確かな目を持ち、草津市のビジョンを描き、そのビジョンに向かって、確かな足取りで、歩んでいく必要があるかと思えます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2. 委員および職員自己紹介

3. 第5次草津市総合計画策定方針について

(事務局説明)

4. 草津市総合計画策定市民会議の進め方等について

(事務局説明)

5. 代表、副代表の選出

(代表に大田委員、副代表に宇野委員を任命)

大田代表 みなさんの協力とご指導により、委員会がスムーズに、充実したものになるようにしたい。よろしくお願いいたします。

宇野副代表 会議の重大さを実感しております。私には3人の子どもがおりますが、子どものためにより良いまちにするのは、大人の責務だと思います。多くの方が住みやすい、住み続けたいまちにしていきたいです。みなさまの協力で良い会議にしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

6. 部会の編成について

(事務局説明および事務局案の提示)

<主な意見等>

- ・部会は、委員の経験や興味等の意向を聞いて編成できるか。→意向を反映させたい。
- ・この場で変更希望を出せない場合は来週中に事務局まで伝えてほしい。
- ・1人1部会にしか所属できないのか。→4部会を同日開催したいので1人1部会をお願いしたい。
- ・所属しない部会の分野について意見を述べることができるか。→意見は幅広く求めたいと考えており、可能である。

7. 草津市の現況について

(事務局説明)

8. その他

事務局 次回の会議は9月7日日曜日、14時から8階大会議室で開催する。

今後の開催日について、原則は日曜日とするが、日程等についてご意見を伺いたい。

(全体を通じての主な質疑等)

- ・十分な協議を行うためには会議資料を事前に通知していただきたい。→できる限り事前に通知したい。
- ・総合計画は市長マニフェストとの整合を図る必要があると考える。マニフェストのロードマップを委員に配布していただきたい。→配布させていただく。マニフェストの整合については、森に例えるならば、森を作るには、まず、木を植えなければならず、どのような林にするのか、考え、林が集まって森になる。目的と手段を明確にしながら、議論の位置づけを考えていく必要がある。
- ・この会議の位置づけは、何かを提案する場なのか、議論し、協議する場なのか、どのような位置づけなのか。→この会議は、計画のキーワードや大枠等、市民の皆様の色々な意見を出していただく場として位置づけている。ここで出されたことをいくつかの委員会で協議、検討しながら、文章化、政策立案を行い、計画を策定してく。ここで議論されたことがそのまま、計画に反映されるということではないが、場合によっては何か具体的な事項に関して提案をいただく等の可能性はある。

以上